

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	大型 事業 推進 プラン 掲載 事業	Plan・Do																	Check			Action									
									事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 (H24～H27)及び平成28年度にお ける事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項 等 (妥当性、有効性、効率性、成 果)										
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、施 設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標	名称	H26 決算	H27 決算	H28 予算					H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案						
10	2-①	妊婦保健事業	保健福祉部 健康推進G	H23	-	ソフト	一般会計		妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るとともに、親になる準備の支援や子育てにつながる支援を行うことを目的とする。	H26	妊婦	妊婦健康診査費用の一部を助成 【事業実績】 ・妊婦届出数：307人 ・妊婦一般健康診査：1人当たり14回助成(3,669件) ・超音波検査：1人当たり4回助成(1,163件) すこやかマタニティ教室 ・2日間コース×4回＝8回 教室参加者 妊婦：52人 夫：32人	母子保健法	妊婦届出時にアンケートを実施して、妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握している割合	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%	100%	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	核家族化が進み、乳児にふれあう機会が少ない現代において、新生児(乳児)の抱き方、オムツ交換など基本的な育児手技の体験を望む夫婦がふえている。マタニティ教室において、具体的な育児のイメージができ、親性の育成につながる事ができる。	すこやかマタニティ教室において、平成27年度に1日コースを試行して好評であったため、今後も継続して実施していく。				
										H27	上記のとおり	妊婦健康診査費用の一部を助成 【事業実績】 ・妊婦届出数：331人 ・妊婦一般健康診査：1人当たり14回助成(3,928件) ・超音波検査：1人当たり4回助成(1,240件) すこやかマタニティ教室 ・2日間コース×4回＝8回 ・1日コース×3回＝3回 合計11回実施 教室参加者 妊婦：71人 夫・実母：54人	上記のとおり	※健やか親子21(第2次)の指標を参照															H27						平成27年度より、マタニティ教室について、試行的に従来の2日間コースに1日コースを追加して、参加者の拡大を図っている。			
										H28	上記のとおり	妊婦健康診査費用の一部を助成 【事業実績】 ・妊婦届出数： ・妊婦一般健康診査 1人当たり14回助成 ・超音波検査 1人当たり4回助成 すこやかマタニティ教室 ・2日間コース×4回＝8回 ・1日コース×3回＝3回 合計11回実施予定	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般財源	20,840	22,276	22,220	22,884	22,884	22,884										
合計														20,840	22,276	22,220	22,884	22,884	22,884																			
11	2-①	乳幼児保健事業	保健福祉部 健康推進G	H23	-	ソフト	一般会計		乳幼児期における子どもの順調な成長・発達を促すとともに、養育者への子育て支援により虐待の未然防止を図ることを目的とする。	H26	乳幼児とその保護者	乳幼児健康診査：小児科医師(内科医師)・歯科医師の診察、保健師・栄養士の相談、心理士・療育相談員の発達相談、歯科衛生士の指導 ○赤ちゃん訪問(全世帯)、乳幼児訪問、乳幼児健康相談 【事業実績】 健診・親子相談は毎月1回 4か月児健診：307人、1歳6か月児健診：324人、3歳児健診：309人、10か月児健康相談：290人、乳幼児相談：315人、赤ちゃん訪問：300人	4か月児健康診査未受診率	%	3.2%	3.2%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	国庫支出金									H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	妊娠前から乳幼児期に至るまでの子育て期において、訪問や健診等で切れ目のない支援を実施することで、育児不安の軽減につながる、乳幼児虐待予防にもつながる事業であり、今後も事業の継続が相当である。	乳幼児に関する関係機関と連携し、子育て支援の充実に向けていく。				
										H27	上記のとおり	上記のとおり 【事業実績】 健診・親子相談は毎月1回 4か月児健診：271人、1歳6か月児健診：301人、3歳児健診：328人、10か月児健康相談：284人、乳幼児相談：322人 赤ちゃん訪問：対象332人中、327人に実施 未訪問の5件の対応：未所相談2件、4か月健診確認2件、里帰り先に転出1件	上記のとおり	対象家庭全てに対し、乳児家庭全戸訪問事業を実施している割合	%	99.7%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	一般財源	2,360	2,301	2,382	2,316	2,316	2,316									H27	平成27年度より、マタニティ教室について、試行的に従来の2日間コースに1日コースを追加して、参加者の拡大を図っている。
										H28	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	※健やか親子21(第2次)の指標を参照	%	99.7%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	一般財源	2,360	2,301	2,382	2,316	2,316	2,316										
合計														2,360	2,301	2,382	2,316	2,316	2,316																			
12	2-④	幼児歯科保健対策事業	保健福祉部 健康推進G	H元	-	ソフト	一般会計		保護者の口腔衛生意識の向上を図り、必要な知識・技術を身につけ、むし歯を予防することを目的とする。	H26	4歳未満の児童とその保護者	【フッ素塗布】1歳6か月児健診に合わせて、希望者に対しフッ素を塗布し、その後、4歳未満まで6か月おきに4回塗布を実施。 【親子むし歯予防教室】広報紙掲載の他に、10か月健康相談時に周知をして、申込み制で実施している。 ・内容：歯科医師による検診・講話、ブラッシング指導、フッ素塗布。保健師・栄養士による健康相談等 ・実績：年2回 36組73人	むし歯のない3歳児の割合	%	80.1%	80.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	国庫支出金									H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	むし歯予防についての取り組みは、将来にわたり健康的な口腔機能の維持につながり、今後も事業を継続することが妥当である。	むし歯所有率などのデータから事業が効果的であるかを継続して分析していく。				
										H27	上記のとおり	【フッ素塗布】1歳6か月児健診に合わせて、希望者に対しフッ素を塗布し、その後、4歳未満まで6か月おきに4回塗布を実施。 【親子むし歯予防教室】広報紙掲載の他に、10か月健康相談時に周知をして、申込み制で実施している。 ・内容：歯科医師による検診・講話、ブラッシング指導、フッ素塗布。保健師・栄養士による健康相談等 ・実績：年2回 36組73人	上記のとおり	幼児歯科保健収入	511	464	496	480	480	480																H27	上記のとおり	
										H28	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般財源	184	249	221	189	189	189										
合計														695	713	717	669	669	669																			
13	3-①	エキノコックス症予防対策	保健福祉部 健康推進G	S50	-	ソフト	一般会計		エキノコックス症患者の早期発見、早期治療のために血清検査等の諸対策を実施することで、市民の健康の保持・増進を図ることを目的とする。	H26	市民(血清検査については、小学校3年生以上で初めて検査を受ける者もしくは前回検査から5年を経過した者)	広報・リーフレット・立て看板等により市民周知、注意喚起を行うとともに、血清検査を実施した。 【血清検査受診者数】2人	北海道エキノコックス症対策実施要領、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)	血清検査陽性者数	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	エキノコックス症は感染してから発病するまでの潜伏期間が長く、予防が可能で早期発見、早期治療も可能な疾患であることから、感染予防のための知識の普及啓発とともに、血清検査による早期発見、早期治療の両側からアプローチすることで、エキノコックス症を予防できることから、事業の継続が相当である。	感染予防に関する知識の普及啓発を行うとともに血清検査の実施を継続していく。						
										H27	上記のとおり	上記のとおり 【血清検査受診者数】7人	上記のとおり	地方債																							H27	上記のとおり
										H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般財源	45	51	58	83	58						58					
合計														45	51	58	83	58	58																			

